PC Warp

マニュアル



ターリー・セキュア・ウォレット株式会社





著作権情報

ターリー・セキュア・ウォレット株式会社は、このドキュメントの内容について明示または 黙示のいかなる保証または表明も行わないものとし、商品性または特定目的適合性に関する 黙示の保証について、あるいは間接損害、特別損害、結果損害について責任を負わないもの とします。

本書に記載している商標およびロゴはすべて各社の登録商標です。ターリー・セキュア・ウ ォレット株式会社の書面による事前許可なしにこのドキュメントの一部または全部を写真複 製、録音などの方法/形態で、複製、検索システムへ保存、他へ転送することを禁じます。 ここに記載の情報の利用については、特許に関連する法的責務は想定していません。ターリ ー・セキュア・ウォレット株式会社は細心の注意を払いこのドキュメントを準備しています が、情報の誤りや欠落について責任を負わないものとします。このドキュメントに記載され ている内容と機能は予告なしに変更されることがあります。



内容

1	本書について4
2	本製品の免責事項4
3	PC Warp のご使用前に4
	ご準備4
	コンピュータの推奨要件
	コンピュータの BIOS 設定
	コンピュータのシャットダウン設定6
4	PC Warp のご使用
	使用する PC Warp の選択
	画面構成
	⊐ ピー12
	コピーされたファイルの閲覧13
5	動作ログ15
6	注意事項について16
7	その他16
	お問い合わせ窓口16



1本書について

この度は、PC Warp (PC Rescue119 for File プログラム)をご購入頂きまして誠にありがと うございました。本書は、PC Warp の使用に関するマニュアルです。製品に関してご不明な 点などがありましたら、弊社のサポートまでご連絡下さい。

2 本製品の免責事項

弊社では、PC Warp を使用した事によって生じる下記の事象に関しては保証しませんので、 予めご了承下さい。

- コンピュータまたは PC Warp 内のシステム、ファイルの破損や変更、消失
- ネットワーク、ハードウェアの不具合等
- コピーされたファイルの完全性
- 弊社以外によって改変された PC Warp の動作
- 弊社が認めない製品やサービスと連携した PC Warp の動作
- 弊社が認める上記以外の事象

3 PC Warpのご使用前に

ご準備

PC Warp をご使用になる前にお手元に下記をご準備下さい。

- PC Warp
- マニュアル (本書)
- データ格納用外部記憶媒体 (PC Warp とは異なる媒体にファイルを格納したい場合 にお客様がご用意下さい。)



コンピュータの推奨要件

PC Warp を使うコンピュータは、次の要件を満たしていることが推奨されます。

- サポートされる OS: Windows XP 以降
- CPU: 1GHz 以上
- メモリ:1GB以上(32bit)、2GB以上(64bit)
- ハードウェア: USB2.0(3.0 以降を含む)ポートを一個以上搭載していること。
- BIOS: USB ブートが選択可能なこと。
 - 概ね Windows 7 リリース以降(2010 年~)に販売されたマザーボードを搭載 しているメーカーPC(自作機は対象外)は、USB ブートに対応していることが 多いです。
 - USB ブートがサポートされていないマザーボードをお使いの場合、お客様にて BIOS のアップデートか、最近のマザーボードへの換装をご検討下さい。

コンピュータの BIOS 設定

PC Warp が起動できるよう、初回にコンピュータの BIOS 設定を変更します。基本的な 流れは下記の通りです。

- コンピュータの電源が切れていることを確認します。
- ② コンピュータの電源を入れ、BIOS 画面に入ります。BIOS の起動方法はコンピュータの機種により異なります。詳細は、下記をご覧下さい。
 https://tallysecurewallet.jp/products/pcwarp/usbboot/
- ③ BIOS 画面にて、OS の起動順位を変更して USB 起動を最優先にします。設定が完 了しましたら BIOS 設定を保存し、終了します。詳しい設定方法は、各コンピュー タメーカーにご確認下さい。設定例は、下記をご覧下さい。
 - 1. NEC 製ノートパソコンの場合
 - ① BIOS 設定の[Advanced]項目に[Legacy USB Support]項目がありますの



 ② [Boot]項目で、[Legacy Boot priority order]の起動順位リストに[USB Memory]を入れます。[USB Memory]は[Excluded from boot order]の配



下にありますので、これをまず起動順位リストに入れます。更に、[USB Memory]をリスト内の最上位に移動させます。

- ③ [Exit]項目から、設定を保存し、BIOS 画面を終了します。
- 2. SONY 製ノートパソコンの場合
 - BIOS 設定の[Boot]項目に[External Device Boot]を[Enabled]に変更します。
 - ② [Boot Priority]で、[Select 1st Boot Priority]に[External Device]を選択 します。
 - ③ [Exit]項目から、設定を保存し、BIOS 画面を終了します。
- 3. Award BIOS を搭載しているパソコンの場合
 - BIOS 設定の[Advanced BIOS Features]で、[1st Boot Device]を[USB-HDD]に変更します。
 - ② BIOS 設定の[Integrated Peripherals]で、[USB Controller][USB 2.0 Controller][Legacy USB strage detect]をすべて[Enabled]に変更しま す。
 - ③ [Save & Exit Setup]項目から、設定を保存し、BIOS 画面を終了します。
- ④ コンピュータの電源を切ります。

コンピュータのシャットダウン設定

必ずコンピュータが完全にシャットダウンされていることを確認してから、PC Warp を コンピュータに接続し、コンピュータの電源を入れて下さい。コンピュータを完全にシ ャットダウンするには、Windows のログイン画面にて、[Shift]キーを押しながら、電源 アイコンをクリックし、[シャットダウン]を選択します。画面に「シャットダウンしてい ます」と表示されましたら、[Shift]キーから手を離します。コンピュータが完全にシャ ットダウンされていない状態を PC Warp が検知すると、メッセージが表示されます。

4 PC Warpのご使用

使用する PC Warp の選択

① コンピュータがシャットダウンしていることを確認します。



 ② PC Warpをコンピュータの USB ポート(USB2.0 以上)に接続し、コンピュータの 電源を入れます(USB ハブ経由では動作しません)。
 Windows 8 以降のコンピュータでは 64bitを選択し、Windows 8 より前のコンピュ ータは、32bitを選択してみて下さい。もし、選択した PC Warp が間違っていた場 合、エラーが表示されますので、その際は、異なる方を選んで再度実行して下さい。 カウントダウンが終わると、選択されているアプリケーションが自動的に起動しま す。
 もし、コンピュータの OS が起動してしまう場合は、BIOS の USB ブートが最優先

になっていないため、第3章の手順を再度行って下さい。

③ 選択した PC Warp が読み込まれます。プログラムが起動するまで暫くお待ち下さい。



画面構成

メインメニューの画面構成





[ファイル個別選択コピー]モードの画面構成



コピーしたいファイルがリストアップされます。

コピーしたファイルを保存する 上記の条件でコピーを開始します。 場所を選択します。



[ファイル種類選択コピー]モードの画面構成

サブフォルダも対象とする場合は、チェッ [参照]ボタンでドライブ(例 C:)をお選び下さい。 クを入れます。

指定したフォルダとその配下のすべての コピー元のフォルダを選択します。ドライブを指定する場合も

参照		
フォルタも言む		
□%(: 60 GB / 60 GB 】 ~		
□ 画像ファイル(写真ファイル)		
動画ファイル		
□ 圧縮ファイル		
□ テキスト ファイル		
イルの拡張子を「/」区切りで書いてください。		
○ フォルダのツリー構造を維持する		
	フォルダも含む	フォルダも高む フォルダも高む

上記の条件でコピーを開始します。



[ドライブ全てコピー]モードの画面構成

りるりやてのノディルが対象となり	/	1	
€ 7 ,12-			
ビー元選択			
C:【使用領域: 22 GB / 30 GB】	~		
2左生湿识			
C:【空き領域: 8 GB / 30 GB】	~	J	
	コピー実行		
	Ť		

上記の条件でコピーを開始します。



コピー

PC Rescue119 for File プログラムのメニュー画面が表示されます。3つのコピーモードからお好きなモードを選択します。

PC Rescue139 for File					00
					I
					I
					I
			\frown		
		.abc			I
		\bigcirc			I
					I
	ファイル個別選択コピー	ファイル種類選択コピー	ドライブ全てコピー		I
					I
					I
					I
					I
					I
					I
					I
					- 1
					I
					I
					I
					I
					I
					I
					I
					I
					I
					I
					I
					I
					I
			Copyrig	ght© ターリー・セキュア・ウォレット株式会社 All Rights Re	served.

各モードの違いは下記の通りです。

モード	説明
ファイル個別選択コピー	個別にファイルを選択し、それをコピーします。
ファイル種類選択コピー	指定した拡張子のファイルのみをコピーします。
ドライブ全てコピー	ドライブ上にあるすべてのファイルをコピーします。

- 各モードにより、操作が異なります。
 - [ファイル個別選択コピー]モード
 - [ファイル選択]ボタンをクリックし、コンピュータ上にある、コピーしたいフ ァイルを選択します。複数のファイルを一括選択することもできます。
 - ② コピー対象のファイルの一覧が表示されますので、問題がなければ、[保存先選択]プルダウンメニューで、ファイルのコピー先を選択します。PC Warp 内に保存するには、[PC Rescue119 USB]を選択します。
 - ③ [コピー実行]ボタンをクリックします。コピーが完了するまでお待ち下さい。 コピーを途中で中止する場合は、[コピー中止]チェックボックスにチェックを 入れ、コピーを中止して下さい。コピーが完了したファイルは、コピーがされ たままになり、削除されません。
 - ④ コピーが完了すると、メッセージと所要時間がポップアップで表示されます。
 - [ファイル種類選択コピー]モード
 - [コピー元選択]で、コピーしたいファイルがあるドライブを選択します。[参照] ボタンをクリックし、コピーしたいファイルがあるフォルダ(またはドライブ) を選択します。Cドライブを指定する場合は、[参照]ボタンからCドライブを



必ず選択して下さい。

- 【保存先選択】プルダウンメニューで、ファイルのコピー先を選択します。PC Warp内に保存するには、[PC Rescue119 USB]を選択します。
- ③ [ファイル種類選択]で、コピーしたいファイルのタイプを選択します。一覧にない場合は、[ユーザー定義]フィールドに任意の拡張子を入力して下さい。「.」は入力不要です。複数ある場合は、「/」で区切って下さい。
- ④ [コピー先保存方法選択]で、ファイルを保存先にコピーする際、コピーしたファイルを一つのフォルダにすべて格納する場合は、[一つのフォルダにまとめる]を選択します。コピー元のフォルダツリー構造をそのままコピー先に複製する場合は、[フォルダのツリー構造を維持する]を選択します。
- ⑤ [コピー実行]ボタンをクリックします。コピーが完了するまでお待ち下さい。 コピーを途中で中止する場合は、[コピー中止]チェックボックスにチェックを 入れ、コピーを中止して下さい。コピーが完了したファイルは、コピーがされ たままになり、削除されません。
- ⑥ コピーが完了すると、メッセージと所要時間がポップアップで表示されます。

[ドライブ全てコピー]モード

- [コピー元選択]プルダウンメニューで、コピーしたいファイルがあるドライブ を選択します。
- ② [保存先選択]プルダウンメニューで、ファイルのコピー先を選択します。PC
 Warp 内に保存するには、[PC Rescue119 USB]を選択します。
- ③ [コピー実行]ボタンをクリックします。コピーが完了するまでお待ち下さい。
 [ドライブ全てコピー]モードのみ、進捗バーと完了度(%)が表示されます。バーは1分毎に更新されます。コピーを途中で中止する場合は、[コピー中止]チェックボックスにチェックを入れ、コピーを中止して下さい。コピーが完了したファイルは、コピーがされたままになり、削除されません。
- ④ コピーが完了すると、メッセージと所要時間がポップアップで表示されます。
- ③ 作業が完了しましたら、ウィンドウ右上の[×]ボタンをクリックし、プログラムを終 了します。

コピーされたファイルの閲覧

- ① コンピュータから PC Warp を外します。
- 別のコンピュータを起動し、Windowsのデスクトップ画面が表示されたら PC Warp を接続します。コピー先ドライブが PC Warp 以外の場合は、ファイルが格納された ドライブを接続します。



② PC Warp を接続すると、D ドライブとE ドライブが表示されます(PC によってドライブレターは異なる場合があります)。コピーされたファイルを閲覧するには、それらのファイルが格納されているE ドライブ(二番目のドライブ)にアクセスします。D ドライブ(一番目のドライブ)は、PC Warp 専用アプリケーションの動作に必要なファイルがありますので、変更や削除しないで下さい。

PC Warp 以外のドライブにファイルを格納した場合は、そのドライブを接続します。



③ コピーされたファイルは、フォルダ毎にまとめられます。

□ 🖓 📙 국 🛛 😤理	E.¥					- 0	×
ファイル ホーム 共有 表示 ドライブ ツール						/	~ 🕜
		● 「「「「」」 「「」 ショートカット・ 新しい フォルダー	▲ 照く → 「ロバティ ② 編集 ② 履歴	■ すべて選択 ■ 選択解除 ■ 選択の切り替え			
クリップボード	整理	新規	聞く	選択			
← → · · ↑ 🗍 → PC → PCRESCUE119P6EDE9DED	006BC (E:) >					✓ Õ PCRESCUE	P
_ Temp ^ 名前	^	更新日時	種類	サイズ	4個の項目		
TempPath	DriveAllCopy_20190319144607	2019/03/19 15:25	ファイル フォル	9-			
Windows C	ExtCopyDirectory_20200116125021	2020/01/16 12:50	ファイル フォル	9-			
📑 Windows10Upgrade 📃 C_	ExtCopyOneFolder_20190319143955	2019/03/19 14:44	ファイル フォル	<i>9</i> -			
1# Se	electedFilesCopy_20190319143838	2019/03/19 14:38	ファイル フォル	ダー			
VC_RED.cab					~		
PCRESCUE119 (D:)							
PCRESCUE119P6EDE9DED068C (E:)							
The second state of the se							
The second secon							
The second secon							
The second secon							
TFSRoot (¥¥NFS01) (Z:)							
🐂 5175U							
■ カメラロール							
ドキュメント							
<u>=</u> ピクチャ							
📃 ビデオ							
▲ ミュージック							
■ 保存済みの写真							
PCRESCUE119 (D:)							
Boot							
EFI							
en-us							
ја-јр							
PCRescue119F							
PCRESCUE119P6EDE9DE9DE9DE8C (E:)							
C_DriveAllCopy_20190319144607							
4個の項目						8	



フォルダ名は、コピー元のドライブレター、使用したモード、コピー日時で構成さ れ、固有の名前が付けられます。フォルダ名にはコピー日時が入りますので、コピ ーを複数回繰り返し行っても以前コピーされたファイルが上書きされる事はありま せん。直前にコピーしたファイルを閲覧するには、更新日でファイルをソートすれ ば容易に見つけることができます。

モード	フォルダに付けられる文字列
ファイル個別選択コピー	SelectedFilesCopy
ファイル種類選択コピー([一つのフォルダにまとめる]選択時)	ExtCopyOneFolder
ファイル種類選択コピー([フォルダのツリー構造を維持する]選択時)	ExtCopyDIrectory
ドライブ全てコピー	DriveAllCopy

- ④ ファイルは、ローカルや他の記憶媒体にコピーや移動し、自由に閲覧ができます。
 [一つのフォルダにまとめる]を選択すると、コピーされたファイルはすべて、PC
 Warpの単一フォルダの配下に格納されます。同名ファイルは、ファイル名の末尾に
 そのファイルの更新日時情報(YMDHMS 形式)が付加されます。
- ⑤ 作業が終わりましたら、コンピュータの電源を切り、PC Warp を外します。

5 動作ログ

コピーしたファイルの保存先フォルダに、ログファイル (PcRescue119F.log) が生成さ れます。このログファイルでは、ファイルのコピー状況 (正しくコピーされたファイル、 エラーが発生しコピーされなかったファイル)を確認できます。フォルダが使用中の場 合は、そのフォルダにあるファイルのコピーがスキップされます。「ドライブ全てコピー」 モードでは、エラーログのみ記録されます。

ログの例 (メモ帳で開いた場合)

※便宜上、行を折り返して表示していますが、各ログは一行で表されます。

//// PcRescue119F.log - 义モ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)
2020/01/16 12:50:21 ファイルコピー C:¥Program Files¥Intel¥iCLS Client¥License.txt -> E:
¥C_ExtCopyDIrectory_20200116125021¥Program Files¥Intel¥iCLS Client¥License.txt
2020/01/16 12:50:21 ファイルコピー C:¥Program Files¥Intel¥iCLS Client¥Readme.txt -> E:
¥C_ExtCopyDIrectory_20200116125021¥Program Files¥Intel¥iCLS Client¥Readme.txt
2020/01/16 12:50:21 ファイルコピー C:¥Program Files¥Intel¥iCLS Client¥Third Party Licenses.txt -> E:
¥C_ExtCopyDIrectory_20200116125021¥Program Files¥Intel¥iCLS Client¥Third Party Licenses.txt



6 注意事項について

- 本製品の複製を作成しないで下さい。本製品のご使用の許諾は、購入された数に限ります。
- 違法性のある使い方をしないで下さい。
- PC Warp の分解、改造、修理を行わないで下さい。故障の原因になります。
- 水を使う場所や湿気の多い所、高温な場所で本製品を使用しないで下さい。
- 本製品に強い衝撃を与えないで下さい。
- お手入れの際は乾いたやわらかい布で軽く拭いて下さい。ベンジン、シンナー、ア ルコール等は使用しないで下さい。
- Mac コンピュータ及び Windows RT (ARM プロセッサー) コンピュータでのご使用はサポート外です。
- 起動中のコンピュータに PC Warp を接続すると、外部記憶媒体として認識され、中のファイルにアクセスできます。専用アプリケーションの動作に必要なファイルを変更や削除すると、正しく動作しない場合がありますのでご注意下さい。
- すべてのコンピュータでの動作を保証するものではありません。
- サードパーティーのシステムまたはソフトウェアにより、PC Warp が正しく動作し ない場合、弊社では責任を負いませんので予めご了承下さい。
- 本製品の仕様により使用時間が 72 時間を超えると強制的に再起動しますので、必ず 72 時間を超えて使用しないで下さい。

7 その他

お問い合わせ窓口

ターリー・セキュア・ウォレット株式会社 サポート窓口
 メールアドレス: support@tallysecurewallet.jp
 業務時間:平日 9:00~17:00(土日祝日は除きます。)